

『横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト』市民講演会を開催

発見や診断が難しいすい臓がんは、進行してから見つかることが多く、全てのがんの中でも生存率が低いとされています。しかし、早い段階で診断できれば、比較的治療成績が良いと言われています。

そこで、横浜市では、すい臓がんを早期に発見して治療につなげるための仕組みとして「横浜市すい臓がん早期診断プロジェクト」を、令和5年度から始めています。

このプロジェクトに関わる医師が、すい臓がんや早期発見につながる危険因子などについて、詳しく解説する市民講演会を7月に開催します。

市民講演会実施概要

日時：令和6年7月11日(木)15時00分～17時30分(14時30分開場)

場所：横浜市南公会堂(横浜市南区浦舟町2-33)

参加費：無料

定員：200名(市内在住、在勤、在学の方)

講師：済生会横浜市東部病院 消化器外科部長 にしやま りょう 西山 亮氏
横浜市立大学医学部教授 附属病院内視鏡センター長 くぼた けんすけ 窪田 賢輔氏
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科講師 みわ はるお 三輪 治生氏

電子申請フォーム、はがきにより申込みください。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



応募期間は、令和6年6月11日(火)～令和6年7月1日(月)です。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/gan/taisaku/20230427.html>

※応募多数となった場合は期日前に締め切ることがあります。はがきで申込みの場合は、来場いただけない場合のみご連絡します。

※手話や筆記通訳を希望する方は、申込時にお知らせください。

※応募に必要な個人情報は適正に管理し、講演会終了後すみやかに廃棄します。

早期診断プロジェクトについて

すい臓がん早期診断プロジェクト 検査の流れ

まずは身近な医療機関にご相談ください。

診察・検査で、すい臓がんの危険因子があると診断された人にはプロジェクト実施病院を紹介、精密検査などで早期診断、治療につなげます。



すい臓がんの危険因子

家族歴※1、糖尿病の新規発症・増悪、慢性すい炎、すいのう胞、飲酒習慣、喫煙、肥満※2

※1 すい臓がんにかかった血縁者がいる人。 ※2 BMI30 以上、過去に肥満であった人を含む。

齋藤選手を起用したチラシの作成について

ラグビーのファン層は、男女ともに 50 代の方が最も多いと言われています。すい臓がんの罹患率は 60 歳ごろから増加し、高齢になるほど高くなります。そこで、「すい臓がん早期診断プロジェクト」を広めるため、横浜市出身のラグビー日本代表選手である齋藤直人選手さいとう なおとを起用した啓発チラシを作成します。

チラシを今回の市民講演会会場で配布するほか、区役所などでも 7 月以降に配架します。

齋藤直人選手について



©JRFU

横浜市出身、父親の影響で 3 歳からラグビーを始め、高校時代に地元横浜の強豪校・桐蔭学園で主将としてチームを花園準優勝に導いた。早稲田大学時代にも大学選手権で優勝、日本代表候補になり、その後プロ入りし 2021 年から日本代表として活躍。今後の日本代表を担う一人として注目されている。

お問合せ先		
医療局がん・疾病対策課長	三室 直樹	Tel 045-671-2957